

《 幼 児 》  
図書館からのおすすめの本

	<p>いっしょにさわってみーんなにっこり</p>	
	<p>やまおか 山岡 ひかる／作・絵</p>	<p>ひかりのくに</p>
	<p>泣いているうさぎちゃんを、りすさんがよしよし。みんなもよしよししてあげてね。よしよししてあげると…。あかちゃんとふれあい遊びができる絵本。</p>	
	<p>パンダおやこたいそう</p>	
	<p>いりやま さとし／作</p>	<p>講談社</p>
	<p>「おやこたいそう はじめるよ。」ぐーんと伸びてたけのこに変身。ゆ～らゆらゆらして、ふりこに変身。パンダ親子といっしょに体操しましょう。</p>	
	<p>ジョンくんのてがみ</p>	
	<p>しんかわ ともこ 新川 智子／作 市居 みか／絵</p>	<p>童心社</p>
	<p>ジョンくんは、どんぐりや、木の葉や、野菜の皮におばあちゃんへの手紙を書きます。ところが転がったり、飛んでいったりで、他の人のところへ。ジョンくんの手紙はおばあちゃんに届くかな。</p>	
	<p>ゆうかい・まいごどうするの？</p>	
	<p>せべ まさゆき／絵 くにさきのぶえ WILL ども知育研究所／編著</p>	<p>金の星社</p>
	<p>お店でおうちの人とはぐれたら？ 知らない人から声をかけられたら？ 留守番する時に気をつけることは？ 自分の身を守るための方法を絵本で分かりやすく解説します。</p>	
	<p>このはなだれの？</p>	
	<p>ほり ひろし 堀 浩／監修 うちやま あきら 内山 晟／写真撮影</p>	<p>ひさかたチャイルド</p>
	<p>黒くて丸い鼻、閉じたり開いたりする鼻、ページに入らないくらい長い鼻…。動物たちの鼻は、生活しやすいように、こんな形をしているんだね。何の動物の鼻か分かるかな？</p>	

《 小学校 低学年 》  
図書館からのおすすめの本

	<p>ちよっただけタイムスリップ</p>	
	<p>はなだ はとこ 花田 鳩子／作 ふくだ いわお 福田 岩緒／絵</p>	<p>PHP 研究所</p>
	<p>夏休みに、おじいちゃんの家へ遊びに行ったゆうと。新学期にクラスのみんなの前で、ハワイへ行ったとウソをついてしまいます。タイムスリップしてウソをつく前に戻れたらいいのに…。</p>	
	<p>ゆき 雪のかえりみち</p>	
	<p>ふじわら かずえ 藤原 一枝／作 はた こうしろう／絵</p>	<p>岩崎書店</p>
	<p>大雪の日。お母さんは仕事で迎えに来られないので、ぼくはひとりで帰ります。バスを待っているとだんだん心細くなってきて…。まわりの人の温かさと男の子の成長が描かれています。</p>	
	<p>このあいだになにがあった？</p>	
	<p>きたろう まさひこ 佐藤 雅彦／作 ユーフラテス／作</p>	<p>福音館書店</p>
	<p>上と下の写真を見比べてね。もこもこのヒツジと、毛が短いヒツジ。2匹は同じヒツジです。さあ、この間になにがあったのでしょうか？ 並んだ写真から、起こった出来事を推理してみよう。</p>	
	<p>はまべでひろったよ</p>	
	<p>いけだ ひとし 池田 等／監修 いわま しろう 岩間 史朗／写真撮影</p>	<p>ひさかたチャイルド</p>
	<p>浜辺には、海藻、貝がら、木の葉、ガラスのかけらなど、いろいろなものが流れ着いているよ。漂着物を集める遊び、「ビーチコーミング」をやってみよう。</p>	
	<p>ぼくのもものき</p>	
	<p>ひろの たかこ 広野 多珂子／文・絵</p>	<p>福音館書店</p>
	<p>モモが大好きな男の子が、お母さんにモモの木を買ってもらいました。マンションのベランダでも育てられるんだって。植木鉢に植えて、本で育て方を調べて、花が咲いたら…。</p>	

《 小学校 中学年 》  
図書館からのおすすめの本

	<p>はいけい <b>拝啓、お母さん</b></p>	
	<p>きわ 佐和 みずえ／作 かんべ あやこ／絵</p>	<p>フレーベル館</p>
	<p>妹が生まれるまで、お母さんは入院。ゆなは、ひとりで九州のじいじの家へ行くことに。お母さんにひどいことを言ってしまったゆなは、じいじの活版印刷所で、気持ちを言葉にすることの大切さに気づきます。</p>	
	<p>ぼく、ちきゅうかんさつたい</p>	
	<p>まつもと ちかみ 松本 聰美／作 ひがし ちから／絵</p>	<p>出版ワークス</p>
	<p>おじいちゃんは「地球観察隊」の隊長。トモヤは隊員一号。自分のまわりの自然のこと、人のこと、小さなことでも、隊長に報告します。よ〜く観察すると、見えなかったものが見えてきて…。</p>	
	<p>うちってやっぱりなんかへん？</p>	
	<p>トーリル・コーヴェ／作 青木 順子／訳</p>	<p>借成社</p>
	<p>1960年代のノルウェー。パパとママは建築家、おしゃれすぎる家や服、見たこともないような自転車。隣のベネディクトেমたいな「ふつう」の家がうらやましい。著者自身の経験をもとにした絵本。</p>	
	<p>はつめいか <b>発明家になった女の子マッティ</b></p>	
	<p>エミリー・アーノルド・マッカーリー／作 宮坂 宏美／訳</p>	<p>光村教育図書</p>
	<p>発明が大好きな女の子・マッティ。大人になり、底が平らな袋を作る機械を発明します。特許をとろうとしますが、マッティのアイデアが盗まれていて…。女性発明家のマーガレット・E・ナイトの伝記絵本。</p>	
	<p>ながいながい骨の旅</p>	
	<p>まつた 素子／文 川上 和生／絵 桜木 晃彦／監修 群馬県立自然史博物館／監修</p>	<p>講談社</p>
	<p>骨が生き物の体の中にできるまでには、長い長い歴史があるのです。地球が生まれたばかりのころから、私たちの体に骨ができるまでの旅をたどり、骨の役割について考えてみましょう。</p>	

《 小学校 高学年 》  
図書館からのおすすめの本

	<p>テディが宝石を見つけるまで</p>	
	<p>パトリシア・マクララン／著 こだま ともこ／訳</p>	<p>あすなろ書房</p>
	<p>詩人と暮していた犬のテディ。テディの言葉は詩人とこどもにしか聞こえません。詩人がいなくなり、つらい日々を過ごしていたテディは、吹雪の中、迷子になった兄妹を助けて小屋に案内します。</p>	
	<p>わたしの苦手なあの子</p>	
	<p>朝比奈 蓉子／作 酒井 以／絵</p>	<p>ポプラ社</p>
	<p>ミヒロのクラスに転校してきたリサは、ツンとしていて打ち解けようとしません。リサの秘密を知ってしまったミヒロは、「苦手を克服する」という夏休みの課題に、リサと仲良くしようと決めますが…。</p>	
	<p>世界を救うパンの缶詰</p>	
	<p>菅 聖子／文 やましたこうへい／絵</p>	<p>ほるぷ出版</p>
	<p>秋元さんの作ったパンの缶詰は、被災地や、飢えに苦しむ地域、さらに宇宙でも食べられています。「あきらめない心」でトラブルを乗り越え、パンの缶詰を世界に届けた小さなパン屋さんの実話。</p>	
	<p>芭蕉さん</p>	
	<p>松尾 芭蕉／俳句 丸山 誠司／絵 長谷川 権／選句解説</p>	<p>講談社</p>
	<p>『おくのほそ道』の著者であり、「古池や蛙飛びこむ水の音」など、数々の有名な句をのこした芭蕉さん。教科書にのった句を中心に、21句をイラストと解説で紹介します。</p>	
	<p>都市の下をのぞいてみれば…</p>	
	<p>エスター・ポーター／文 アンドレス・ロザノ／絵 Babel Corporation／訳出協力</p>	<p>六耀社</p>
	<p>たくさんの人々が生活している都市。その地下にはいったい何があるのでしょうか。電気、ガス、水道、地下鉄やトンネル、国によっては墓地まで。人々の生活を支える、都市の地下を見てみましょう。</p>	

《 中 学 生 》  
図書館からのおすすめの本

	なりたい二人	
	せいじょう ヒロ子／作	PHP 研究所
	モデルに憧れているが、背が高いのが悩みのちえり。料理研究家になりたいが、ぽっちゃりを気にしているムギ。仕事について調べる課題で、ちえりの母は管理栄養士、ムギの母はエステシャンだと知り…。	
	漫画君たちはどう生きるか	
	よしの げんざぶろう 吉野 源三郎／原作 はが しょういち 羽賀 翔一／漫画	マガジンハウス
	ものの見方・貧困・いじめ・学業・人間関係…。これらのテーマについて、コペル君と考えてみよう。1937年に出版されて以来、こども向けの哲学・道徳書として読み継がれてきた名著を漫画化。	
	研究するって面白い! 科学者になった11人の物語	
	伊藤 由佳理／編著	岩波書店
	中高生のお母さん世代 11 人のリケジョが登場します。自身の研究について、内容、道のり、魅力を簡潔に述べています。性別問わず研究の世界へ進路を考えている中高生向け。	
	世界の国鳥	
	アフロ／写真 水野 久美／テキスト	青幻舎
	その国のシンボルとして選ばれた国鳥。選定理由は希少種の保護のため、食文化や民謡などで親しまれているからなど、国によって様々です。国鳥から、その国の自然や文化が見えてきます。	
	10代からの情報キャッチボール入門 使えるメディア・リテラシー	
	しもむら 健一／著 下村 健一／著	岩波書店
	報道の最前線にいた著者が実体験に基づいて語るメディア・リテラシーの指南書。中高生の大半がスマホを持ち、多くの時間を SNS と接する時代にこそ読みたい本。	

《 高 校 生 》  
図書館からのおすすめの本

	<p>不祥事 実業之日本社文庫</p>	
	<p>池井戸 潤<small>じゅん</small>／著</p>	<p>実業之日本社</p>
	<p>テレビドラマ「<small>はなさきま</small>花咲舞が黙ってない」の原作。銀行の裏側を舞台に起こる事件を若手女子行員がバサバサと切り倒していきます。痛快な気分を味わいたいときに読む本。</p>	
	<p>彼女のためにぼくができること</p>	
	<p>クリス・クラッチャー／著 西田 登<small>のぼる</small>／訳</p>	<p>あかね書房</p>
	<p>原題を訳すと「サラ・バーンズのためにデブのままている」。外見上のコンプレックスという共通点により、友情で結ばれているエリックとサラ。高校でエリックが水泳部に入り、やせはじめると…。</p>	
	<p>方言<small>も</small>萌え!？ ヴァーチャル方言を読み解く</p>	
	<p>田中 ゆかり／著</p>	<p>岩波書店</p>
	<p>テレビや小説、キャラクター、お土産、SNS…。様々なメディアで流行中の「ヴァーチャル方言」は、実生活で使う「リアル方言」にも影響を与えています。方言から日本社会の一面を見てみよう。</p>	
	<p>名建築の空想イラスト図鑑</p>	
	<p>サイドランチ／著</p>	<p>エクスナレッジ</p>
	<p><small>りょうらんかく</small>凌雲閣、アレクサンドリア図書館、バビロンの空中庭園…。伝説上の建物、今は存在しない建物を複数の作家が描いた本です。各建築物のエピソードも紹介しています。眺めているだけでも楽しい一冊。</p>	
	<p>日本のエネルギー、これからどうすればいいの？</p>	
	<p>小出 裕章<small>こいで</small>／著</p>	<p>平凡社</p>
	<p>岐路に立つ日本のエネルギー問題。著者は原子核物理学を専門とし、多数の著書をもつ脱原発派の研究者です。皆が考えなければならぬエネルギー問題の最適な入門書。</p>	

《 一 般 》  
図書館からのおすすめの本

	しめきり <b>めきりめきり</b>	
	まゆら 左右社編集部／編	左右社
	お詫び・言い訳・開き直り…。明治から現代までの、作家・エッセイスト・マンガ家たち 90 名のめきにまつわる手紙・日記・エッセイを収録。	
	<b>ハリネズミの願い</b>	
	トーン・テレヘン／著 長山 さき／訳	新潮社
	臆病なハリネズミが、誰かを招待しようと思いつく。だけど、誰も来ないんじゃないだろうか？ もしも、こんなトラブルが起こったら？ 悪い想像が膨らみ、招待状は出せない。深い孤独に寄り添う物語。	
	しらせのぶ <b>白瀬 轟 私の南極探検記</b>	
	白瀬 轟／著	日本図書センター
	1912 年、日本人初の南極上陸に成功した白瀬轟。資金・物資・装備が、他国の探検隊と比べて乏しいにも関わらず、隊員全員が生還するという成果を残した。自伝的探検記。	
	<b>にっぽんスズメしぐさ</b>	
	中野 さとる／写真	カンゼン
	食べる・羽づくろいをする・ひと休みするなど、スズメの生活のほんのひとコマをクローズアップした写真集。1羽1羽スズメの個性が見てとれます。	
	<b>世界を動かす 100 の技術 日経テクノロジー展望 2018</b>	
	日経BP社／編	日経BP社
	止まらない心臓・ぶつからない車・お金のデジタル化…。日経の専門誌編集長 30 人が、10 年後にビジネスで生き残る有望なテクノロジーを厳選し、解説する。	

